

2018年度 流域圏担い手づくり事例集Ⅱ

'18.11.16 洲崎 燈子

【2018年度の活動案】

「流域圏担い手づくり事例集Ⅱ」の作成に向け、取材を行う。

取材先は主に事例集メーリングリスト、山部会、川部会メンバーから候補を提案。

取材希望者がいる取材先に連絡を取り、取材対応の許可を頂く。取材希望者は取材の同行者をメーリングリスト等で募り、取材を実施する。取材時にはこれまでの事例集を持参して取材先に渡す。

取材後はレポート作成を行い、レポート集を発行する。

2019年度はじめに開催予定の「流域圏担い手づくり事例集交流会2019」の準備をする。

【7/6山部会WGでの指摘】

最近の事例集は冊子の作成が第一義になっている傾向があり、本来の「事例集を作る喜び」が薄れている。取材者と取材先の交流や、相互の「気付き」がもっと大切にされるべきである。新しく取材に参加した人が地域の魅力に目ざめるきっかけになるような取材の場としたい。

↓

- ・取材者として新しい人（できれば若い人）に入ってもらえるよう声かけをする。
- ・新しい取材者に常連の取材者がつき、取材や送迎、レポート書きのサポートをするといいい。
- ・最初から取材先を確定せず、取材者と取材先の組み合わせが決まってから取材先に声かけをする。

【スケジュール】

- 1) 取材者の募集（～11月）
- 2) 取材先の確定（～11月）
- 3) 取材、読み合わせ会（11～1月）
- 4) レポート提出（～2月）
- 5) 事例集の完成（～2019年3月）
- 6) 流域圏担い手づくり事例集交流会（2019年4月）

* 交通費等の計算・支払事務は豊田市の株式会社M-easy戸田友介代表、金子優子氏が担当

【取材先候補】 緑：山の関係団体、青：川の関係団体

	取材先	取材者
長野県		
	飯田市	
	鶯流峡復活プロジェクト	
	根羽村	
	根羽村漁業協同組合	

	取材先	取材者		
愛知県				
	愛知・川の会			
豊田市				
	つくラッセル			
	正晴会	洲崎	安藤	
	伊熊営農クラブ			
	NPO法人マルベリークラブ中部	安藤		
	すぎん工房			
	畦道			
	三州しし守社中			
	萩野自治区			
	和合自治区			
	岩本川創遊会			
	枝下用水120年史編集委員会			
	原田裕保氏	(事務局まとめ)		
岡崎市				
	奏林舎	手塚	太田	
	間伐こもれび会			
	ウッドデザインパーク	手塚	太田	
	有限会社オフィスマッチングモウル	今村	近藤	太田
	おとがワ！ンダーランド	近藤	太田	
安城市				
	内藤連三氏	内田		
		19	8	

【取材者】

安藤由美子（なつかしい未来の会）

池田ちか（有限会社オフィスマッチングモウル）

今村豊（根羽村森林組合）

内田臣一（愛知工業大学）

太田修（岡崎市）

沖章枝（水と緑を守る会・岡崎）

近藤朗（愛知・川の会）

洲崎燈子（矢作川森の研究者グループ）

高橋伸夫（西三河野鳥の会）

松田（岡崎市）

山本薫久（都市と農山村交流スローライフセンター）

手塚透吾（事務局補佐；アジア航測株式会社）